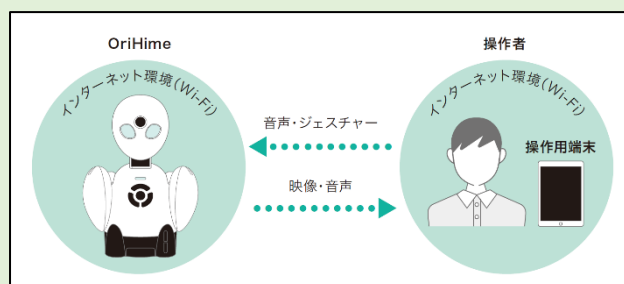


分身ロボットを活用した 障がい者就労事業のご紹介

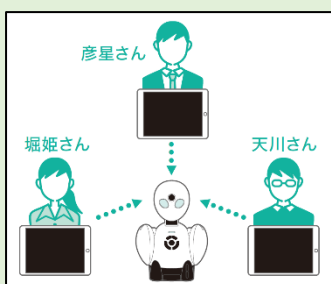
分身ロボット
「OriHime」



分身ロボット「OriHime」の特徴



▲自宅からタブレット操作で、企業に設置した分身ロボットを動かすことが可能



▲数人の操作者でロボットの操作が可能



▲操作者はLIVEカメラを通して、運用状況を確認

販売元:株式会社オリィ研究所

事業主体 福岡県福祉労働部労働局就業支援課
事務局(委託) 九州地理情報株式会社

《 障害者雇用支援策の状況 》

▶令和6年4月以降 短時間労働者の雇用率算定対象になりました

☞週所定労働時間が「10時間以上20時間未満」の**重度障がい者**も雇用率の算定対象になりました。

▶令和7年4月～順次 除外率が引き下げられます

☞令和7年4月に、各除外率設定業種ごとの**除外率がそれぞれ10ポイント引き下げ**られました。(これまで除外率が10%以下の業種は除外率制度の対象外となりました。)

▶令和8年7月1日～ 法定雇用率が引き上げられます

☞令和8年7月からは常時雇用する**労働者数が37.5人以上の事業所の法定雇用率が2.7%**に引き上げられます。



《 福岡県が実施した就労実証事業について 》

福岡県では、短時間障がい者雇用制度の範囲が広がり、重度障がい者の雇用機会が拡大すること、法定雇用の除外率が引き下げられ、障がい者雇用義務がある企業の範囲が広がることを踏まえ、外出困難な重度障がいのある人の雇用を促進するため、企業における分身ロボットを活用した就労実証を実施しました。

実施年度	協力企業	対象業種①	対象業種②
令和6年	2社	鉄道運輸	レジャー観光施設
令和7年	2社	サテライトオフィス	特例子会社

《 実施した就労実証の内容》

令和6年度の就労実証



業種区分	鉄道運輸
実証期間	3 カ月間
実証時間	6 時間/平日
設置場所	駅構内の案内所
実証内容	声掛け、近隣施設の道案内
検証結果	・ 駅職員の近くに分身ロボットを設置したため、利用者は直接駅職員に問い合わせる傾向があり、職員の負担軽減には繋がらなかった

業種区分	レジャー観光施設
実証期間	3 カ月間
実証時間	6 時間/平日
設置場所	レストランの入口
実証内容	来客誘導、施設案内
検証結果	・ 分身ロボット操作者の声掛けを通じて利用者との会話が弾む場面も見られ、特にこどもや外国人客から高い関心を集めた

令和7年度の就労実証



業種区分	サテライトオフィス
実証期間	3 カ月間
実証時間	6 時間/平日
設置場所	オフィス受付・イベント会場
実証内容	移動式ロボットによる声掛け
検証結果	・ 受付業務とイベント会場での声掛けを組み合わせることで、週10時間以上の勤務が可能となった ・ 特にイベント会場では移動式ロボットが注目を集め、企業PRに大きく貢献した

業種区分	特例子会社
実証期間	3 カ月間
実証時間	6 時間/平日
設置場所	商品展示場入口
実証内容	商品PR、職員の職域拡大
検証結果	・ 通行人の関心を引きつけ、商品の紹介する機会が増加した ・ また、職員のテレワーク雇用における有効な手段として検討でき、職域拡大につながる可能性を示した

《 令和 7 年度の就労実証の検証結果》

業種区分	実証結果からの期待
サテライト オフィス	新たな企業価値の創造 ⇒分身ロボットを職員の肩に掛けたり、自走しながらの声かけは、その周辺にいる人に与えるインパクトが絶大 ⇒イベント会場で障がいのある人が分身ロボットを通じて遠隔で働く姿を体感することで、職員だけでなく、多くの方に障がいのある人の多様な働き方への理解を深めることができる ⇒法定雇用率の算定だけでなく、企業イメージの向上に貢献できる
特例子会社	対話型のサービスを通じた集客の期待 ⇒商品案内の手法として、分身ロボットを介した対話型の接客は興味と親近感を与え、P R 効果の向上に寄与できる ⇒障がい者雇用の業務の切り出しやテレワーク雇用における有効な手段として検討することができる ⇒A I 翻訳や生成 A I との連携により、様々な来客者に対応する多言語サービス等の提供も可能となる

分身ロボットを活用した障がい者雇用を実現するための工夫

○ガイドライン策定による短時間雇用の実現

短時間勤務や体調に応じた週単位の柔軟なシフト調整を可能とする雇用管理ガイドラインを策定することで、重度障がいのある人も安心して就労できる環境を整える

○業務を円滑に進めるための「複数名体制」の構築

操作者の急な体調不良や欠勤などに備え、一つの業務を複数名で対応する体制を整えることで、安心して業務に取り組むことができる

○定期的なコミュニケーションによる定着支援

企業の管理担当者と操作者の間で定期的な面談などによるコミュニケーションを図ることで、操作者の心理的負担の軽減や就労意欲の維持につながり、長期的な定着が可能となる

○ロボットのレンタルによる初期投資後のリスク低減

分身ロボットをレンタルで試験的に運用することで、初期投資後の雇用継続が困難になった場合のリスクを抑えることができる

《分身ロボットの導入コスト》

①機器購入の場合 (※) 利用料は スタンダードプラン の価格です	導入内容	単 価	1年目の費用	2年目以降の費用
	購入費	400,000円	400,000円	—
	利用料※	9,000円/月	108,000円	108,000円
	合 計	—	508,000円	108,000円
②レンタルの場合	導入内容	単 価	年間費用	別途、送料が必要です
	レンタル費	50,000円/月	600,000円	

(注) この価格は令和8年4月時点のものです